

環境コーディネーター養成講座「なにわ環境塾」

環境情報室環境教育推進課

「なにわ環境塾」は、地域において環境保全活動を積極的に行っている府民を対象とし、より専門的かつ実践的な知識および技術の取得を目指し、環境教育や普及啓発活動あるいは地域における環境保全を推進するためのコーディネート役としての力を身につけることを目的として基本コースと応用コースを開講した。平成 16 年度には基本コースを 39 名、応用コースを 38 名が受講した。

環境塾は 15 日間にわたり、主に環境情報プラザの研修室での講義やワークショップを中心に、平成 16 年 5 月に開設された環境実験室「いこらぼ」での実験・実習や環境関連施設 2 箇所の見学を織り込んで実施した。

基本コースの講義科目と概要は、以下のとおり。(応用コースは環境学習プログラム作りとその実習。)

月日	題 名	概 要
8 月 19 日 (木)	概論「環境コーディネーターの役割」 グローバル環境文化研究所(GEC) 代表 岡 靖敏	環境コーディネーターとしての目的、役割、活動方法など基本的な考え方を学ぶと同時に、受講者の参加目的の共有化を図る。
	理論/環境政策 「大阪府の環境政策について」 大阪府環境農林水産部職員	身近な都市・生活型環境問題の現状と原因・対策及び市民生活との関連を学ぶ。また、大阪府の環境政策について学習する。
8 月 22 日 (日)	理論・環境問題(1)「自然との共生」 ノートルダム学院小学校教諭 菅井 啓之	自然環境及び生態系の循環システムと、人と自然との共生についての説明及び自然環境保全に関わる理論と実践を学ぶ。
8 月 28 日 (土)	自然環境(1)(2)/野鳥・植物観察 「自然のインタープリテーション①②」 ノートルダム学院小学校教諭菅井啓之 (財)日本野鳥の会 井上省吾	鶴見緑地でのフィールドワークを体験して自然観察の指導法を学ぶ。 人と自然の関わりを学ぶ体験学習プログラムを実習する。
	理論/環境概論 「人と環境との関わり」 京都精華大学講師 原田 智代	環境及び環境問題を学び、生態系の概念、物質循環を学習する。また、地球規模で考え、地域で行動していく方策を考える。
9 月 2 日 (木)	理論/環境教育概論 「今なぜ環境教育か」 京都精華大学講師 原田 智代	環境教育・環境学習の基本的考え方、環境教育の歴史的経緯など環境教育の現状を学ぶ。また、環境教育の必要性を学習する。
	実践(1)/ワークショップ 「環境学習プログラムデザイン」 GEC代表 岡 靖敏	観察会や学習会などを計画・実施する場合の留意点、運営、進行など企画手法を学ぶ。
9 月 16 日 (木)	理論/環境問題(2)「地球温暖化は今」 立命館大学教授 和田 武	気候変動・地球温暖化問題の現状、原因、影響、対策などの概要を学習し、市民生活との関わりについて学ぶ。

月日	題名	概要
9月 16日 (木)	理論/環境問題(3)「エネルギー問題」 立命館大学教授 和田 武	地球温暖化防止の視点から新エネルギーなど将来のエネルギーのあり方を学ぶ。
9月 23日 (木)	実践(2)/ワークショップ 「コミュニケーション作りとファシリテーション術」 野と森の遊び文化協会副理事長 逸見 祐司	地域の環境保全と創出活動、地域社会の再生との関わりを明らかにし、都市における豊かな人間関係を築くコミュニケーション手法について学ぶ。
9月 30日 (木)	都市環境(1)/見学 「門真市リサイクルプラザと環境センター」 門真市環境センター	門真市リサイクルプラザ・環境センターの施設見学を通して、ごみとリサイクルの問題について学び、その効果や問題点、資源循環型社会に向けた社会のしくみについて考える。また、施設を使った環境学習プログラムを考案する。
10月 3日 (日)	実践(3)/プログラム 「地域の身近な環境を学ぶ一街・ウォッチング」GEC 代表 岡 靖敏	市街地観察をもとに、マッピング作業を行い、地域環境の現状と課題を把握し、地域の環境づくりの方向性を探る。
10月 7日 (木)	実践(4)/ワークショップ 「市民公益活動ー組織運営と事業マネジメント」 宝塚NPOセンター理事 森綾子	市民公益活動の歴史、NPO、NGOの現状や社会的背景、活動を支えるしくみ、役割を考え、活動の進め方、組織づくり、資金づくりなどのノウハウについても学ぶ。
10月 14日 (木)	都市環境(2)/環境調査 「大気・水質簡易測定」 大阪府環境情報センター職員	水質及び大気などの簡易測定を実習し、日常生活と環境負荷の関係について学習するための手法や環境負荷低減対策について学習する。
10月 17日 (日)	自然環境(3)/野外活動「野と森の遊び」 「自然での応急処置法」 野と森の遊び文化協会副理事長 逸見 祐司	日本の自然、風土から生まれた野遊びの技術、体験学習の方法を学ぶ。また、自然の中での応急処置法についても学習する。
10月 21日 (木)	都市環境(3)/見学 「大阪府村野浄水場」 大阪府水道部村野浄水場	大阪府村野浄水場の高度浄水処理の見学を通して、水問題の現状と対策を学び日常生活と水の関係について学習するための手法を考える。また、施設に設置されている太陽光発電を見学し、太陽光発電の普及など現状と基本的知識を学ぶ。
10月 24日 (日)	実践(5)/プログラム 「環境家計簿：おおさかエコアクションの実習とエコライフ」GEC 代表 岡 靖敏	環境家計簿「おおさかエコアクション」の使い方と評価手法を選び、暮らしの中のエネルギーやCO ₂ の削減を考える。
10月 28日 (木)	課題発表 GEC 代表 岡 靖敏	ワーキンググループごとに課題発表 修了証書授与

平成16年度環境コーディネーター養成講座「なにわ環境塾」講座風景



講義風景



鶴見緑地での自然観察



街・ウォッチング結果の取りまとめ



燃料電池車の説明・試乗



水質調査



大気調査



応急措置法の講習



木工工作



ワークショップ風景



村野浄水場の見学



課題発表の様様



修了生の皆さん